

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

CKD・HD 予防外来の取り組みと今後の課題～腎代替療法選択の意志決定支援の実際～

2. 研究責任者(当院)

所属：聖隷佐倉市民病院

氏名：山本 真紀

3. 分担研究者

所属：聖隷佐倉市民病院

氏名：藤井 隆之、長谷川 裕美、森田 千秋、宮崎 木の实

4. 研究対象者

2021年4月1日～2022年3月31日 CKD・HD 予防看護外来で支援した患者 243 名中
腎代替療法の選択に向けて支援した患者 19 名の方。

5. 研究の必要性

腎代替療法選択は治療の方法を選択するということだけではなく、どのように生きていくかを選択することでもあるといわれている。自分で決めるという自己決定の権利に関してはリスボン宣言No.3、看護職の倫理綱領第4条、厚生労働省ガイドラインでも提言されており、日本透析医学会2020でも意思決定プロセスについて意思決定権は本人にあると提言している。当院では2010年からCKD・HD予防外来を発足し、その人の暮らしや人生に関心を寄せ、患者自身が治療を継続できるように支援することに努めてきた。2021年からは、腎代替療法選択意思決定支援に対する関わりも開始し、患者本人の意志が尊重され、本人の希望する生を全うし、そのときその人にとって最良の意思決定となることを目標に関わっている。2021年度腎代替療法選択の説明に関わった療養選択の結果を、初回介入時期、情報共有、治療の説明、共同意思決定、継続介入について取り組んだことを振り返り今後の課題を明らかにしたいと考え調査した。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

腎代替療法選択意思決定支援について関わった患者の選択結果を分析し支援方法の評価と改善に繋げていく。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1155

担当者氏名：山本 真紀

対応時間：平日 08:30～17:00